

国土交通大臣賞

「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

株式会社鴻池組 名古屋支店

伊勢・朝熊地区関連施設（仮称）整備事業工事事務所

取組の実践場所

三重県伊勢市

受賞テーマ

仮設建築物における3Rへの取り組み～3R進捗率99%以上の達成～

同整備事業は、2016年5月26・27日に開催された伊勢志摩サミットのために計画された報道関係者向け施設を補う仮設建築物である。この施設は、サミット開催には必要不可欠なものであるが、期間終了後は取り外される仮設建築物であるため、施工段階・取り外し段階の各段階で3R率向上を目指した。その結果、重量比で99%以上のリユース・リサイクル率を達成することができた。

■リデュース（発生抑制）

①木材のプレカットによる廃材の削減

同現場で使用する木材（外壁ルーバー、渡り廊下柱・梁、木製フェンス、ウッドデッキ等）等を注文時工場でのプレカットしておくことにより、木材全体数量の8.0%を削減することができた。

②ウッドデッキ下地材や手摺材等に仮設資材を用いることによる発生材の抑制

ウッドデッキ下地や手摺材等は通常木材や鋼材が用いられるが、本建物の特性を活かし仮設資材を用いることにより、発生材の抑制並びに廃材の削減ができた。

■リユース（再利用）

施工段階でリユースを見据えた材料の選定、施工方法の検討を行った結果、高いリユース率を確保することができた。

①タイルカーペットのリユース

タイルカーペットは数多く種類がある中で、汎用性の高い2種類に限定し選定した。運用時、人の動線が少ない部分はタイルカーペット下に塗る滑り止め剤の塗布を抑えリユース向上を図った。タイルカーペットのリユース率は76%となった。

②木材のリユース

木製ルーバーやフェンス、ウッドデッキ等木材のリユース性を高めるため、個々の部材サイズを均一化する計画とした。また、施工時接着剤を使用せずビス止めとすることで、取り外しが容易にできるようにした。リユース率は50%となった。

■リサイクル（再利用）

リサイクル率向上のため、建物取り外しは人的作業による徹底した分別解体とした。また、建設時も排出される産業廃棄物を分別収集し、混合廃棄物を減量化させた。分別された建築廃材は、それぞれの中間処理へ運びリサイクル化を図った。

①石膏ボード

バックヤードの石膏ボードを素地仕上げとすることや、プリントされた既製石膏ボードを利用することにより、取り外し時石膏ボードにクロスや塗装等不純物が混ざる割合を低減させた。分別収集した石膏ボードは、ボードの原料としてリサイクルした。

②廃プラスチック

通常最終処分となりやすい廃プラスチックは中間処理業者へ排出し破碎した後、セメント製造工場にてセメントの原料としてリサイクル処理とした。



柱プレカット搬入状況



仮設部材を使用した手摺



タイルカーペット取り外し状況



寸法を均一化した木製ルーバー